

# 大麦栽培特報 第4号

平成30年3月31日  
 いなば農業技術者協議会  
 ○事務局【JAいなば営農生産課】  
 小矢部市赤倉97 67-8000  
 【西部支店】67-8200【東部支店】67-8300  
 【南部支店】61-8900【福岡支店】64-8600  
 ○高岡農林振興センター 26-8480

## 1. 現在の生育状況 (3月28日調査結果)

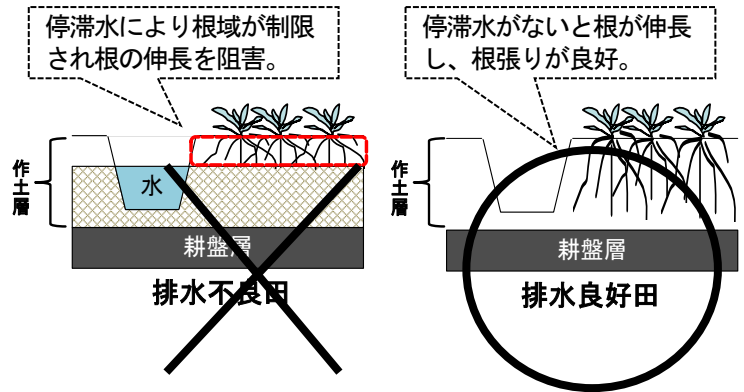
調査ほ平均		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉令 (L)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (mm)
H30	9月下旬～10月上旬播種	19.8	740	10.0	43.3	3.8
	10月中～下旬播種	14.2	573	9.3	38.2	2.8
平年(H20～29産)※		26.9	651	11.6	42.3	11.7

※ 9月下旬～10月上旬播種の平年値  
 ○生育は、平年より草丈は短く、茎数はやや多めに推移しています。  
 ○一部に湿害による茎数不足のほ場も見られます。  
**出穂期予想：4月28日頃と思われます(今後の気象により変動もあり)**

## 2. 今後の管理

### (1) 排水対策の徹底

排水溝の手直しを行うとともに、深く掘下げた排水口へ連結する。



### (2) 分施肥体系の止葉展開期追肥

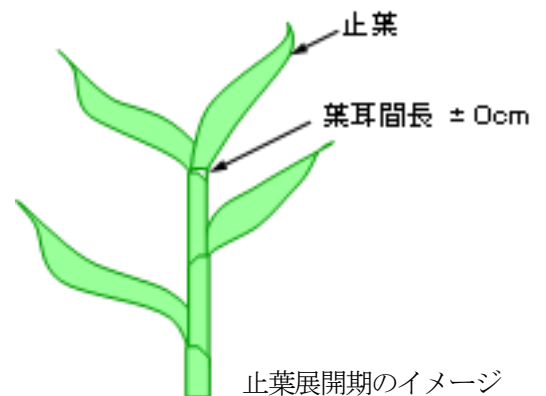
図. 排水の良否と根の伸長のイメージ

分施肥体系を行っている地区では、ほ場により生育が異なるので、**止葉展開期を確認し、追肥は、5～10kg/10a**を施用する。

**※品質低下をまねくので、追肥は遅れずに、施用する。**

—追肥量の目安—

葉色・葉色版	硫安施用量(Kg/10a) ( )は窒素成分量	
5未満	10	(2)
5以上	5	(1)



止葉展開期のイメージ

#### ※止葉展開期とは？

止葉が完全に抽出した茎が、全体の40～50%となった時期です。

※ 肥効調節型肥料の場合は、追肥は施用しない。  
 ただし、葉色が淡いようなら営農指導員にご相談ください。